

注意喚起表示設置について

工 事 名	令和4年度 関川・姫川維持管理工事
工 事 場 所	関川・姫川直轄管理区間
会 社 名	北陸パブリックメンテナンス(株)
発 表 者	立入 公德

1 はじめに

本工事は、関川・保倉川及び姫川の直轄管理区間において、軽微な補修対応や出水時の河川巡視、災害対策車両の出動、訓練、保守管理を主に年間を通して作業を行うものである。今回、河川安全利用点検にて指摘を受け対策を講じた注意喚起表示設置について事例を報告する。

2 概要（現場状況）

河川安全利用点検は、河川管理者、市職員及び協力団体が一緒になって、大勢の人が集まりやすい場所を中心に、水辺広場・運動公園及び水際部の点検をゴールデンウィーク前と夏休み前の年2回実施している。

利用点検において、利用に際して危険な場所として、上越まつりでも利用され小学校も隣接している稲田橋右岸上流の親水護岸(写真-1)と、上越消流雪用水取水口(写真-2)の利用に際して注意喚起を促す処置を行うこととなった。



写真-1（稲田橋右岸上流）



写真-2（上越消流雪用水取水口）

3. 表示方法の検討

課題として ・子供でも分かりやすい表現方法 などの課題について検討した。
・利用者の支障とならないこと
・風雨等に対して安全であること

結果、過去に管理用通路上の距離標に設置した海拔表示(路面貼付シート)を利用できないかと考えた。

路面貼付シート (サイドウォーク) の特徴

- ・路面に貼付けるため通行の支障にならない。(写真-3)
- ・表面が滑りにくく耐摩耗性に優れておりアスファルトやコンクリート等の粗面にも施工可能。
- ・設置場所に合った寸法・文字・イラストでシートを製作ができる。(写真-4)



写真-3



写真-4

4. 結果

アスファルト(写真-5)・コンクリート(写真-6)面のどちらでも良好に設置でき、路面シートで貼付けることにより従来の看板や柵よりも、利用者の安全性向上と高水敷増水時の妨げにならない。(写真-7)

5. まとめ

危険な場所での注意喚起としてあげた課題に対し、効果的な方法として施工することができた。今後も、現場状況に合った施工方法、材料選択に努めていきたい。

【シート貼付状況】



写真-5 (アスファルト面)



写真-6 (コンクリート面)

【シート貼付後】



写真-7